

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第 209 号 (2024. 7. 1)
事務局 川西地区自主防災会

かがわ自主ぼう連絡協議会
宇多津町地区理事 平野 文夫

会報 129 号(2017.12.1 発行)では、宇多津町自治会連合会主催の防災訓練や町の防災施策・事業等を紹介しました。また、谷川俊博町長からは「まちづくり」などのお話をお聞きしました。

今回は近年の防災事業、研修・訓練等について宇多津町危機管理課の北山 広二主幹にお話を伺いました。

1. 宇多津町の基礎的な数値等について

① 宇多津町の人口等(令和 6 年 4 月 1 日現在)

- ・人口:18,342 名
- ・65 歳以上の人口:4,027 名
- ・世帯数:9,084 世帯
- ・自治会組織数:48 団体
- ・自主防災組織数:55 団体

② 宇多津町の避難施設等数(注:災害の種類は考慮していない)

- ・指定緊急避難場所:50
- ・指定避難所:6
- ・福祉避難所:4
- ・津波避難ビル:3

2. 備蓄品倉庫数と備蓄品種別(食料、衣料、衛生用品、簡易ベッド、パーテーション、毛布、ベビー用品、女性用品等)

① 公共施設:

- ・備蓄品倉庫数:4 か所
- ・備蓄品種別:食料、飲料、毛布、簡易トイレ、おむつ(子供、大人)、ブルーシート、粉ミルク、生理用品等)

② 民間委託:なし

3. 災害時における民間事業者との支援協定件数

- ・実績:53 件
- ・計画中、交渉中:なし

4. 令和 5 年度自治会連合会防災訓練

- ・訓練場所:宇多津小学校校区(南部地区)
- ・参加人数:182 名(住民 84 名、関係者 98 名)

・ 訓練内容:

No.	項 目	支 援 協 力 団 体 等
①	AED 蘇生訓練	日本赤十字社香川県支部
②	毛布担架搬送訓練	香川県防災士会坂出宇多津支部
③	日常品を活用した応急手当訓練	かがわ自主ぼう連絡協議会
④	水消火器による消火訓練	かがわ自主ぼう連絡協議会
⑤	車椅子の使い方訓練	宇多津町社会福祉協議会
⑥	「避難所マンホールトイレ」の説明	宇多津町危機管理課
⑦	海上保安庁展示訓練	坂出海上保安署
⑧	県警展示訓練	香川県坂出警察署
⑨	気象情報の説明・雨量計の展示	高松地方気象台
⑩	「体育館空調設備」の説明等	四国ガス
⑪	災害対策用品展示訓練	NPO 法人コメリ災害対策センター
⑫	自衛隊車両の展示・炊出し訓練	陸上自衛隊善通寺駐屯地第15即応機動連隊
⑬	炊出し訓練	訓練該当地区婦人会
⑭	耐震診断・改修制度の案内ブース	宇多津町地域整備課

・ 訓練模様スナップ (抜粋)

①谷川 俊博 町長の開会挨拶



②毛布担架搬送訓練

(香川県防災士会坂出宇多津支部)



③応急手当訓練(かがわ自主ぼう連絡協議会)



④水消火器による消火訓練

(かがわ自主ぼう連絡協議会)



⑤車いすの使い方訓練(宇多津町社会福祉協議会)



⑥避難所マンホールへの説明(宇多津町危機管理課)



⑦海上保安庁展示訓練(坂出会場保安署)



⑨気象情報の説明・雨量計の展示

(高松地方気象台)



⑩体育館空調設備(四国ガス)



⑫自衛隊車両炊き出し訓練

(陸上自衛隊善通寺駐屯地第15即応機動連隊)



⑬炊き出し訓練(訓練該当地区婦人会)



5. 令和5年度 各団体等の防災訓練、研修内容等について(実績)

①公立小学校: 3 件

救急実技 (AED 使用方法等)、防災施設紹介 (飲用水兼用耐震性貯水槽、かまどベンチ、マンホールトイレ)、起震車体験

②公立中学校: 2 件

避難訓練、防災講話

③公立こども園等: 3 件

防災講話、防災実技指導、消火器訓練、救急実技 (AED 使用方法等)

④認定こども園等: 1 件

避難訓練、消火器訓練、救急実技 (AED 使用方法等)

⑤福祉施設: 3 件

避難訓練、通報訓練、消火器訓練、救急実技 (AED 使用方法等)

⑥民間事業所: 7 件

防災講話、消火器訓練、救急実技 (AED 使用方法等)、炊き出し訓練、起震車体験、避難誘導

⑦単独自主防災組織及び自治会: 防災講話: 14 件

防災講話、消火器訓練、救急実技

6. 宇多津町自主防災組織防災資機材整備事業補助金について

①整備事業内容

宇多津町において、自身が住む地域の安全を確保し、地震、水害等の災害に対処するために設立された「**自主防災組織**」に対し、**※予算の範囲内**において、防災資機材等の整備に必要な助成を行い、防災体制の確立と防災思想の普及、啓発を図るため、【**宇多津町自主防災資機材整備事業補助金**】の交付を行っています。

※予算の範囲内: 補助金の交付の対象経費は、防災資機材の整備に要する経費となります。「**自主防災組織**」が負担した額の2分の1以内とし、**1 自主防災組織につき、1 年度 25 万円を限度**としています。

「**自主防災組織**」のお問合せについては、**宇多津町危機管理課：0877-49-8027** まで。

②令和 5 年度利用実績 13 件

・事業申請組織数: 12 件

・申請内容(具体的な資機材)

○防災セット様々 ○乾電池 ○保存水 ○保存食（ごはん・えいようかん等）

○非常用トイレ○多機能防災ラジオライト ○発電機 ○テント ○消火器

○センサー など

・補助事業開始からの利用件数: （要綱は、平成 24 年施行）

データが現存する、平成 27 年度～令和 5 年度までの利用実績の総件数は、212 件である。

・補助事業利用申請内容ベスト 3 の資機材名

1 位 保存食

2 位 防災セット

3 位 乾電池

7. 現在進行形の大規模等防災対策事業

宇多津町においては、住宅の耐震化、減災化を促進するため、平成 23 年度より家屋の耐震診断及び耐震改修工事などに要した費用の一部について補助を行っています。

老朽化した空き家やブロック塀などについても、災害時に倒壊し通行人に被害が及ぶ、道路をふさぐなど被害の増加、救助作業の妨げになる可能性があります。そのため、危険と判断された老朽空き家、及びブロック塀の除却工事を促進するため、費用の一部を補助しています。

また、平成 24 年度より地籍調査も順次進められており、地籍調査を行うことにより、土地の地権者の把握や道路などの官民境界が明確化され、災害時のライフラインの復旧や地域の復興が迅速に行われるようになります。

その他、災害時の飲料水を確保するため町内 2 か所に貯水槽を設置、各学校、役場にマンホールトイレ設置するなど、災害時の対策にも努めています。

以 上